

【第1報】E1A 新名神高速道路 ②23.7KP 事故復旧工事中の事故

【発生日時】 2022年1月27日（木） 21：55

【発生場所】 E1A 新名神高速道路 ②23.7KP(野登T N)付近（鈴鹿PA～亀山西JCT）

【工事件名】 2021年度 東名阪自動車道 ■管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋（株） ■事業所

【概要】

走行車線規制内で事故により損傷したトンネル側壁タイルを2名で貼り直すため（約60枚）、下地モルタルを除去しようと電動工具（サンダー）を準備していたところ、何らかの原因でスイッチを入れてしまい、回転した刃に手袋の袖口部分が絡り左手を切傷した。

【被害状況】 人的被害：あり

左手の平切傷 12針縫合 診断書：左手掌挫創 2週間加療

物的被害：なし

【報道等】 なし

【原因】

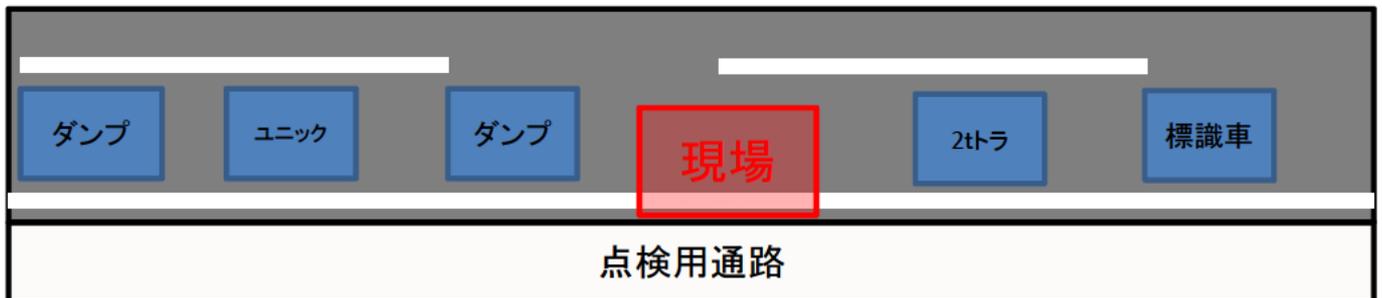
新たにトンネル側壁タイルを張り付けるためにチップパーでトンネル側壁タイルの下地のモルタルを除去しようとした。しかしながら思うように作業が進まず、別の施工方法を検討した。電動工具（サンダー）で溝切をしてからチップングを試そうとした際に何らかの原因でスイッチが入ってしまい、サンダーの回転した刃に手袋の袖部分が絡まり手を切傷した。

なお電気工具（サンダー）には本来ついているべきカバーとハンドルが取り付けられていなかった。また、急な施工方法の変更のため耐切創用手袋の着用を忘れた。

【航空写真】



【現場状況】



【現場写真】



【施工イメージ】



【けがの状況】



【対 策】

- ・電動工具（サンダー）のスイッチが予期しないタイミングで入らないようにデッドマンスイッチ型に変更する。※下記写真イメージ
- ・作業前には電動工具のカバー・ハンドルが従来どおりに設置されているかの点検を行う。
- ・耐切創用手袋の着用。
- ・なお、トンネル側壁タイルの下地モルタルの除去方法を変えた（段取り替え）ことが原因の一つである。適正な作業方法について検討中。



パドルスイッチ
+ ブレーキ (BRAKE)



再起動防止機能



キックバック
軽減機能 AFT
Active Feedback sensing Technology

